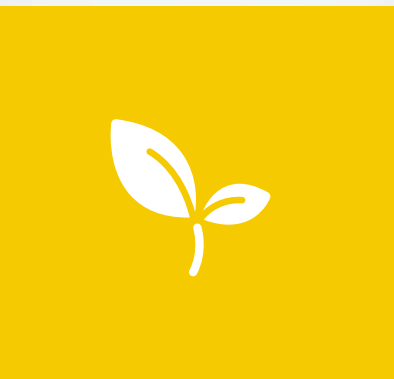


CSR報告書 2016

Corporate Social Responsibility Report 2016



すべてはお客様に
安心して快適な環境を
提供するために。



会社案内 Company profile

名称 アースサポート株式会社

設立 昭和38年2月4日

所在地 島根県松江市八幡町882番地2

資本金 5,000万円

代表者 代表取締役 尾崎俊也

組織体制 Organization system





CSR報告書 2016

Corporate Social Responsibility Report 2016

会社概要	01
組織体制	01
アースサポートのあゆみ	03
トップメッセージ	05
ハイライト	06
環境とのかかわり	09
地域とのかかわり	14
社会とのかかわり	20
お客様とのかかわり	22
社員とのつながり	25
アースファームだより	29
アンケート	30
編集後記	32





アースサポートのあゆみ

1975

1984

1994

1999

2000

2001

2002

11月

(有)山陰清掃社 設立 (島根県松江市)

山陰ビル管理(株) 設立 (鳥取県米子市)

2月

7月

東亜グループの二員となる

4月

(有)山陰清掃社からアース環境(株)に社名変更

9月

産業廃棄物焼却・サーマルリサイクルプラント竣工

7月

産業廃棄物選別・リサイクルプラント竣工

8月

竹矢地区自治協会8団体様と「環境に関する協定」を締結

3月

島根県内の産業廃棄物処理業界で初めてISO14001を認証取得

10月

松江市竹矢地区自治会協会様と共同で廃食油リサイクル事業スタート

2003

2004

2005

10月

山陰ビル管理(株)と、アース環境(株)が合併し
アースサポート(株)へ社名変更

10月

アースサポート(株)鳥取支店開設

9月

アース建築・環境設計事務所設立・事業スタート

6月

機密文書リサイクル事業スタート

1963



1999.9 焼却炉



2000.7 選別プラント



2002.10 廃食油リサイクル事業



アースサポート株式会社は、ビル管理・清掃を事業としていた山陰ビル管理株式会社と廃棄物処理を事業としていたアース環境株式会社が合併し、生活空間そのものの環境保全、という新たなカテゴリーへと進出しました。わたしたちは、すべてのお客様に安心と快適な環境を提供するために、環境に関するあらゆる問題を解決する「トータルソリューション」を提案するリーディングカンパニーとして挑戦し続けます。

2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2013	2014	2016						
9月	12月	4月	6月	5月	11月	10月	5月	3月	5月	1月	8月	11月	6月	4月	6月
RPFプラント及び風力・重量選別プラント竣工	計量証明事業所(濃度)に登録	廃棄物管理サービス(管理代行)開始	食品リサイクルプラント竣工	東京本部開設	カーボンオフセット事業開始	BtoC解体事業スタート	再生利用事業計画(リサイクル・ループ)認定 (株式会社ふくしま様と共同)	再生利用事業計画(リサイクル・ループ)認定 (松江しんじ湖温泉旅館組合様と共同)	Tポイント二次代理店として加盟	東京工場 エコウ ル京浜島 開設	タイヤリサイクルプラント竣工	不用品回収事業 片付け堂 スタート	東京本部を赤坂に移転	圧縮施設竣工	石尾産業(株)グループ参入により、 東京23区内の事業系一般廃棄物収集運搬事業参入



2005.9 RPFプラント



2007.6 食品リサイクルプラント



2005.9 風力選別プラント



2013.1 エコウェル京浜島



トップメッセージ

廃棄物処理を通じて地域環境保全に貢献するとともに、
「良き企業市民」として様々な地域貢献活動に積極的に参加し、
CSRに真摯に取り組む会社や社員を作る。

代表取締役社長 尾崎 俊也



平素は弊社業務につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社の環境とのかかわり、地域とのかかわり、社員とのかかわり等、弊社が日々の経営に向き合う際にとっても大切にしています様々な活動をまとめた『CSR報告書2016』を発行させていただくにあたり、関係各位に多くのご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

■アースサポートを取り巻く環境変化

地域のお年寄りの方々のニーズに対応するために個人様向けの不用品回収サービス「ごみのコンビニ 片付け堂」という事業を2013年11月から開始していますが、少子高齢化という時代のニーズもあり、たいへん多くの受注を頂いています。また、最近「空き家問題」が社会問題化しているという背景もあるため、戸建ての住宅の解体に関するご依頼も急増しています。弊社の個人向け事業は「お客様の様々なニーズに寄り添ったサービスを提供する」という理念で事業を行っており、これからもその思いを大切に、お客様に喜んでいただけるサービスの提供を目指したいと考えています。

その一方で、弊社も「労働者不足」という問題に直面しています。特に現場作業に従事する職員が不足しているため、HPやその他の媒体での採用活動に力を入れています。昨年は新人事制度も導入し、評価制度や昇給・昇格のルールを明確化することで、弊社で働く社員一人ひとりが将来設計しやすいように、また長く弊社で働いてもらえるようにしています。これからも弊社は社員にとって働きやすい会社づくりを目指し、様々な改善に取り組んでいきます。

■良き企業市民として

弊社は「地域との共生を目指し、地域に喜ばれ必要とされる会社作り」を行うという経営理念を掲げており、「良き企業市民」であるための活動を積極

的に行っています。

長く行っている事業としては、弊社地元の竹矢町にある松江市立竹矢小学校様に毎年行っている環境図書の寄贈や、また松江市内の小学校に対して「出前環境授業」を行っています。更には私自身も島根県から「しまね環境アドバイザー」に任命いただき、地域の公民館や学校で環境に関する講演を行っています。こういった地道な活動をコツコツと続けることで、少しでも地域の方々のお役に立ちたいと考えています。

■持続可能な社会の構築を目指す

弊社は廃棄物処理・リサイクル事業を行っている会社であるため、弊社の事業活動自体が環境に対して大きな影響を及ぼし得るということを常に意識しています。ここでいう「大きな影響を及ぼし得る」というのは、環境負荷が増えるというマイナスの側面もあれば、よりリサイクル率を増やし、電力消費量を削減するという、環境的にプラスの側面もあります。弊社では新たな事業展開を検討する際に、必ず『その事業はリサイクルを増やすか?』、『地球温暖化を軽減することが可能か?』、『障がい者の雇用を増やすことができるか?』という3つの質問を自らに問い、その答えがプラスになる事業を実施するよう心掛けています。環境に関わる事業を営む事業者の責任として、これからも持続可能な社会の構築に少しでも寄与できるよう取り組みます。

このような思いを一冊にまとめたものが、今回作成した『CSR報告書2016』です。私たちは、お客様、社員、そして地域の方々に喜んでいただける「三方よし」の考えを大切に、その思いをお客様や社員、地域の皆様と交わした『約束』と考え、これからも誠心誠意努めて参ります。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



ハイライト



ベラー機導入

平成28年5月、新たにベラー機を導入しました。このベラー機は、ダンボールなどの古紙、空き缶などの金属くず、廃プラスチックなどの圧縮を行う設備となっています。古紙や空き缶などは、圧縮機に投入された後プレスされ、1メートル四方の固まりになって排出されます。このように廃棄物を



圧縮することによって、これまで古紙や空き缶などをそのまま資源業者に運搬していた時と比べ、格段に運搬効率が向上します。また、廃プラスチックについては、従来当社の RPF 施設にて固形燃料としてリサイクル(サーマルリサイクル)していましたが、今回の圧縮機の導入に伴い、今後は廃プラスチックを材質や性状によって同じプラスチックにリサイクルするマテリアルリサイクルにも注力していく考えです。

- 処理廃棄物
 - 一般廃棄物(ダンボール、古紙類)
 - 産業廃棄物(廃プラスチック類、紙くず、金属くず)
- 処理能力
 - 232.8 t / 日



保管庫棟完成

ベラー機にて圧縮された廃棄物を保管する保管庫棟も完成しました。保管庫棟は2階建ての構造になっており、1階は圧縮された廃棄物を、2階は医療廃棄物のボックスや書類等を収納しております。また、一部壁面には壁面緑化も施しております。





ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのつながり

アースファームたより



『しまねいきいき雇用賞』を受賞

島根県では、雇用に関し優れた取り組みを行う企業等を表彰し、広く県民に周知することにより県内企業等の魅力向上、職場環境の整備、雇用の促進などに資することを目的として、平成26年度に新たな表彰制度「しまねいきいき雇用賞」が創設されました。

今回、第2回目の公募に応募したところ、社員へ

のさまざまな取り組みが評価され、受賞いたしました。平成28年1月29日、表彰式が行われ、溝口県知事より表彰状と盾をいただき、そのあと溝口県知事と受賞企業間で各社の取り組みについて意見交換させていただきました。今後も『社員が夢をもてる会社づくり』を目指し、社員満足向上のために取り組んでまいりたいと考えています。

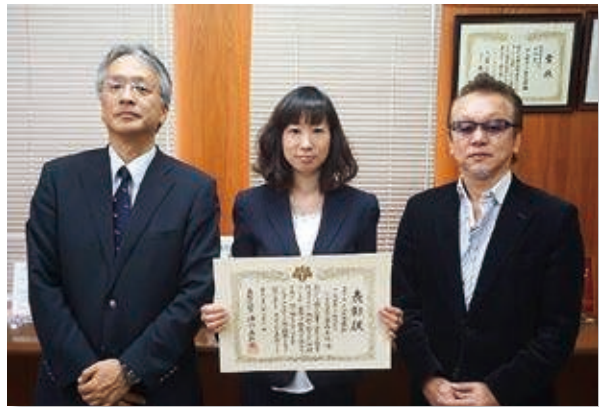


イクボス表彰

ワーク・ライフ・バランスの推進(仕事と家庭の両立支援)事業のひとつとして、島根県では、「イクボス」表彰を行っています。これは、仕事と子育ての両立支援を進めるため、部下の仕事と子育ての両立を支援し、かつ業務効率を上げるなどの工夫をしている上司を「イクボス」として募集し、特に優れた取り組みをしている方に対して知事表彰を行うものです。この度、島根県より、弊社CSR推進室長の重森



が「こころイクボス表彰」をいただきました。表彰式はお休みさせていただいたため、島根県子ども・子育て支援室長様に弊社までお越しいただき、表彰をしていただきました。





ユニック車・2㎡コンテナ導入

平成28年3月末に当社初となるユニック車(最大積載量7,100kg)が1台導入されました。また、合わせて2㎡コンテナも導入し、ユニック車に最大3基積むことができます。ユニック車、2㎡コンテナ

とも以前からお客様からの要望が多く、今回の導入によって当社の作業方法はさらに広がるため、より一層お客様のご希望に添うことが可能となりました。



宅地建物取引業者の資格を取得しました

2016年2月に宅地建物取引業者の資格を取得しました。以前より、片付け堂や解体のサービスを利用されるお客様から、「片付けた後の空き家を売却したい」「更地になった土地を処分したい」等のお声がありました。これまでは不動産業者様を紹介するしか方法はありませんでしたが、宅地建物取引業者の資格を取得したことにより、家の片付け・解体から家・土地の処分まで、一貫してアースサポートで行えるようになりました。お客様のお困りごとを弊社のサービスで解決できる範囲が増えるよう、当社は今後より一層こうした施策を行ってまいります。



CSR推進室室長 重森千枝

経営理念の一つに掲げている「コンプライアンス」を実行するために設置しているのがCSR推進室です。廃棄物処理は、廃棄物処理法に定められた品目を決定することからスタートします。この品目判断は、製品やサービスの多様化でますます困難になってきている一方、食品廃棄物の転売事件などにより廃棄物処理法は一層複雑化し、規制も厳しくなっています。わたしたちは廃棄物処理のエキスパートとして、お客様のコンプライアンス、すなわち『安心』を提供するために、日々知識と経験を積み重ねるよう努力しています。

また、このたび「イクボス」として、島根県知事より表彰をいただきました。子育て世代の社員が多いので、皆さんが『安心』して働き続けることができる環境を提供することも、重要な業務のひとつだと考えています。



環境とのかかわり



環境データ

●焼却炉排ガスデータ

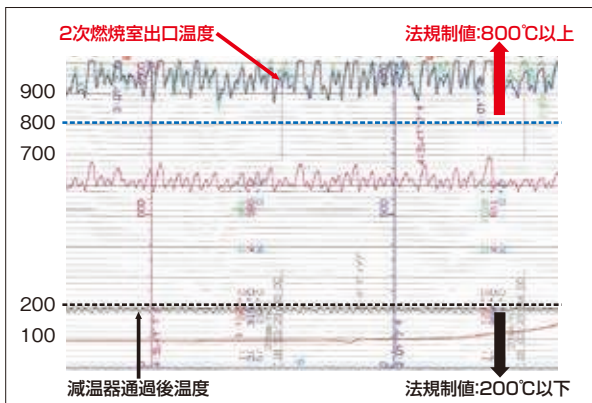
測定項目	測定値		法規制値	単位
	H27.9.18	H28.2.17		
ダイオキシン類	0.011	0.0058	1	ng-TEQ/Nm ³
塩化水素	55	160	700	mg/Nm ³
ばいじん	0.0083	0.0096	0.08	g/Nm ³
硫黄酸化物	1	1.7	25.06 25.52	Nm ³ /h
窒素酸化物	58	120	250	cm ³ /Nm ³

●焼却炉燃え殻データ

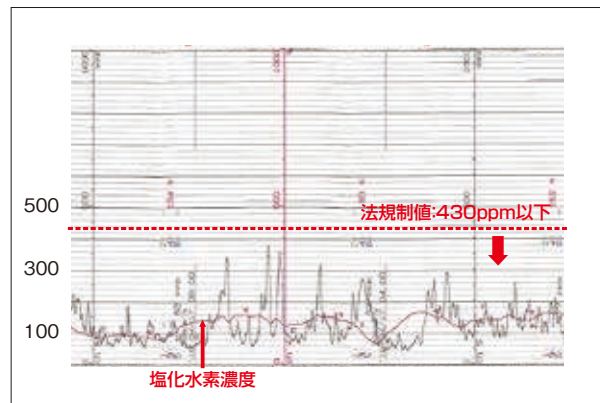
測定項目	測定値	法規制値	単位
	H27.12.29		
ダイオキシン類	0.43	3	ng-TEQ/g

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H27.12.29		
水銀又はその化合物	N.D.	≦0.005	mg/トレル
カドミウム又はその化合物	N.D.	≦0.3	mg/トレル
鉛又はその化合物	N.D.	≦0.3	mg/トレル
六価クロム化合物	N.D.	≦1.5	mg/トレル
砒素及びその化合物	N.D.	≦0.3	mg/トレル
セレン及びその化合物	N.D.	≦0.3	mg/トレル
P C B	N.D.	≦0.003	mg/トレル

●焼却炉温度チャート



●焼却炉塩化水素濃度チャート



ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのかかわり

アースファームたより



●排水データ

測定項目	測定値		法規制値	単位
	H27.9.25	H28.1.30		
ダイオキシン類	0.00050	0.00020	10	pg-TEQ/リットル

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H27.4.22		
カドミウム化合物	N.D.	≦0.1	mg/リットル
シアン化合物	N.D.	≦1	mg/リットル
有機燐化合物	N.D.	≦1	mg/リットル
鉛又はその化合物	N.D.	≦0.1	mg/リットル
六価クロム化合物	N.D.	≦0.5	mg/リットル
砒素及びその化合物	N.D.	≦0.1	mg/リットル
水銀又はその化合物	N.D.	≦0.005	mg/リットル
アルキル水銀化合物	検出せず	検出されないこと	mg/リットル
P C B	N.D.	≦0.03	mg/リットル
トリクロロエチレン	N.D.	≦0.3	mg/リットル
テトラクロロエチレン	N.D.	≦0.1	mg/リットル
ジクロロメタン	N.D.	≦0.2	mg/リットル
四塩化炭素	N.D.	≦0.02	mg/リットル
1, 2-ジクロロエタン	N.D.	≦0.04	mg/リットル
1, 1-ジクロロエチレン	N.D.	≦0.2	mg/リットル
シス-1, 2-ジクロロエチレン	N.D.	≦0.4	mg/リットル
1, 1, 1-トリクロロエタン	N.D.	≦3	mg/リットル
1, 1, 2-トリクロロエタン	N.D.	≦0.06	mg/リットル
1, 3-ジクロロプロペン	N.D.	≦0.02	mg/リットル
チウラム	N.D.	≦0.06	mg/リットル
シマジン	N.D.	≦0.03	mg/リットル
チオベンカルブ	N.D.	≦0.2	mg/リットル
ベンゼン	N.D.	≦0.1	mg/リットル
セレン及びその化合物	N.D.	≦0.1	mg/リットル
硝酸性窒素・亜硝酸性窒素及びアンモニア性窒素含有量	0.3	≦100	mg/リットル
ふっ素及びその化合物	N.D.	≦8	mg/リットル
ほう素化合物	N.D.	≦15	mg/リットル
1, 4-ジオキサン	N.D.	≦0.5	mg/リットル

ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

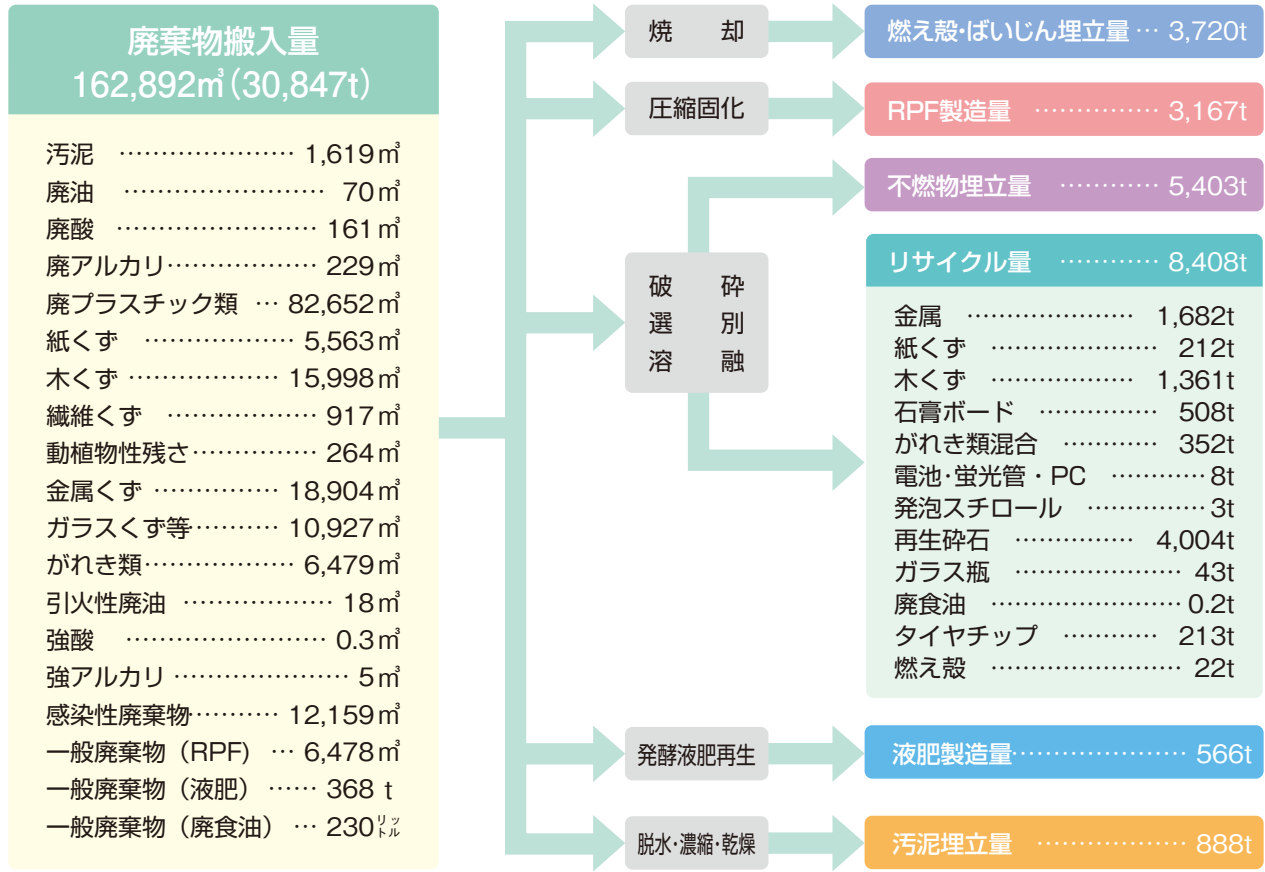
社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのかかわり

アースファームたより

廃棄物処理実績



H27.4.1～H28.3.31までの実績

リサイクル率

	最終処分率	減容率	リサイクル率
ガラス	65%	15%	20%
がれき	53%	4%	43%
金属	2%	1%	97%
紙くず	1%	73%	26%
プラスチック	3%	87%	9%
木くず	1%	44%	55%
繊維	1%	90%	10%
動植物	2%	38%	60%
廃酸	5%	93%	2%
汚泥	38%	61%	1%
廃油	5%	94%	1%
他	5%	95%	0%
全体	15%	58%	27%

H27.4.1～H28.3.31までの実績



ISO14001 への取り組み

【基本理念】

アースサポート株式会社は、廃棄物の適正処理・リサイクル・清掃活動を通じて地球環境保全に貢献するとともに、都市空間のトータルサポートを目指し、お客様に安心で快適な環境を提供する。

【環境方針】

- ① 環境目的・目標を明確にし、その見直しを定期的に行うことにより、継続的な環境管理活動を行います。
- ② 地球環境保全のため、廃棄物の適正な収集・運搬・処理を行うとともに新技術・新設備を導入し、省資源、省エネルギー、廃棄物の再資源化及び減容化に努めます。
- ③ 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、汚染の予防に努め、かつ、環境保全の継続的改善に努めます。
- ④ 環境教育・社内広報活動などを通じて、全従業員の環境保全に対する意識の向上を図ります。
- ⑤ 地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社づくりを行います。
- ⑥ 環境方針は要求があれば、一般にも開示します。

平成17年11月1日

代表取締役社長 尾崎 俊也

●環境目標と達成状況

目的	平成26年度(平成26年10月～平成27年9月)		達成率
A重油使用量削減	目標	焼却炉A重油使用量 23 $\frac{1}{2}$ /h以下	◎
	結果	19.30 $\frac{1}{2}$ /h	
リサイクル率向上	目標	リサイクル率48%以上(汚泥を除く)	△
	結果	46.9%	
定期収集時間短縮	目標	定期収集時間1件当たり6分30秒以下	◎
	結果	6分17秒	
新たなリサイクル	目標	新たなリサイクルの検討1回/月以上	○
	結果	1回/月	
環境教育の実施	目標	環境教育の実施16回以上(対外)	◎
	結果	20回	
搬入量増加 (エコウェル京浜島)	目標	搬入量増加 年間搬入量850t以上	◎
	結果	988t	

×：達成率が80%未満 △：達成率が80%以上100%未満 ○：達成率は100% ◎：達成率が100%を超えたもの



施設課焼却炉班主任 目次行文

当社の業務は、仕事そのものが環境に大きな影響を与えます。搬入される廃棄物をいかにリサイクルするか、いかに適正に処理するかということに日々取り組んでいます。

特に焼却炉は環境という点で注目をされます。焼却炉は法律で定められている事柄が多く、管理する上で大変な部分もありますがお客様や地域の方々へ【安心で快適な環境】を提供すべく日々焼却炉と向き合っています。

焼却炉では発生する熱を様々な形で再利用する取り組みが行われています。これらをサーマルリサイクルといい、最近の熱利用方法として主流なのは発電が挙げられます。当社では発生した熱を利用して汚泥を乾燥することができ、リサイクル方法の1つとして活用しています。



ISO 更新審査結果

当社では、平成13年3月にISO14001を認証取得しました。平成26年2月には東京のエコウェル京浜島においても認証取得し、サイト拡大を行っています。

平成28年1月20日～22日に、外部審査機関による更新審査が行われ、審査機関であるJQA（一般財団法人日本品質保証機構）の審査員2名の方に審査いただきました。取得以降、今回も含めて、重大な不適合事項（改善指摘事項カテゴリ A）や軽微な不適合事項（改善指摘事項カテゴリ B）はなく、引き続き認証継続とのご判断をいただきました。また、昨年度のCSR報告書が環境コミュニケーション大賞優秀賞に選ばれた点をストロングポイントとして、現場オペレーターの目利き力・判断力が向上していることが資源の有効利用や業務効率の向上に寄与している点をグッドポイントとして挙げていただきました。

今後のシステム改善に結びつく事項については、改善の機会として6件ご指摘いただきました。

今後は、昨年夏にISO14001が規格改定されたため、その対応及び業務と直結したマネジメントシステム運用に注力してまいります。



実施月	審査の種類	改善指摘事項A	改善指摘事項B	改善の機会	ストロングポイント	グッドポイント
H24年2月	定期審査	なし	なし	3件	なし	2件
H25年1月	定期審査	なし	なし	2件	なし	3件
H26年2月	更新審査	なし	なし	4件	なし	なし
H27年2月	定期審査	なし	なし	3件	なし	1件
H28年1月	更新審査	なし	なし	6件	1件	1件





地域とのかかわり

環境教育

平成12年頃より、地域の小学校へ出前授業を行っています。内容は、「ごみの分別方法とごみのゆくえ」と題し、家庭から出るごみのサンプルを持参して分別方法を説明します。その後、そのごみがどのように処理されるのか、リサイクルされるのかを説明します。併せて「ごみ収集車(パッカー車)のしくみ」と題し、学校にごみ収集車を持って行き、車両の仕組みを説明する他、実際にごみの投入体験もしてもらいます。運転席にも乗ることができるので、子供たちに人気です。どの学校でも、子供たちは熱心に話を聞き、メモを取ったり積極的に質問をしてくれます。毎回ご好評で、授業を依頼される学校が増えてきています。授業後には、子供たちからの感謝の手

紙が会社に寄せられます。この手紙は、全社員が読めるように社内に掲示をしています。(お名前等、個人情報ふせて掲示しています。)



- 「ごみの分別方法とごみのゆくえ」
- 「ごみ回収車(パッカー車)のしくみ」実施校

平成27年5月26日(火)	持田小学校	4年生2クラス	44名
平成27年6月18日(木)	川津小学校	4年生3クラス	87名
平成27年6月30日(火)	出雲郷小学校	4年生3クラス	72名
平成27年9月8日(火)	朝酌小学校	4年生1クラス	10名
平成27年9月8日(火)	意東小学校	4年生1クラス	32名
平成27年9月9日(水)	玉湯小学校	4年生2クラス	53名
平成27年9月10日(木)	母衣小学校	4年生2クラス	61名
平成27年9月15日(火)	竹矢小学校	4年生2クラス	52名
平成27年9月16日(水)	揖屋小学校	4年生2クラス	51名
平成27年9月29日(火)	雑賀小学校	4年生2クラス 6年生	38名 1名





保育園での環境教育

昨年より、小学校のみに留まらず保育園でも環境教育を実施しています。今年度は、平成27年5月13日に松江市矢田町のしらゆり第3保育園年長クラス26名に環境教育を行いました。当日は、イラストを使って生ごみがリサイクルされる仕組みを説明した後、液体肥料作りを体験してもらい、パッカー車の実演も行いました。液体肥料作り体験では、実際にその日の給食で使われる野菜の皮などを削り、細

かくする作業や混ぜる作業を体験してもらいました。また、パッカー車の実演では、ごみの投入体験や運転席に乗車してもらい、大変喜んでいただきました。そして、2日後の5月15日には、完成した液体肥料を実際に畑に撒く体験もしていただきました。

今後さらに幼稚園や保育園での環境教育を行っていきけるよう、他校へのアプローチや内容の改善を行ってまいります。



食育

平成27年7月3日、竹矢小学校の4年生2クラス54名の児童を当社に招き、食育を行いました。当社の食品リサイクルシステムを説明した後、リサイクル施設を見学し、アースファームの農場で収穫体験をしてもらいました。「もったいない」の精神で食べ物を無駄にしないという気持ちを持ってもらうことと、残ってしまった食品残さはただ単に捨ててし

まうのではなく、リサイクルして肥料にすることができるということ、そしてその肥料を使って美味しく地球環境にも優しい野菜を作ることができるという、まさに「リサイクルループ」を実体験していただいています。各クラスでいちばん大きなじゃがいもを掘った児童へは「金メダル」を贈呈することを説明すると、一生懸命収穫を行っていました。





図書寄贈

平成28年3月28日に竹矢小学校へ訪問し、目録及び図書の寄贈を行いました。平成16年から始めた竹矢小学校への「みどりの図書」の寄贈も今年で11回目となります。

「みどりの図書」は環境に関する本で、小学校の図書館に置いていただいておりますが、環境に関する本がたくさんになってきたため、今年は環境に限らず様々な種類の本となりました。校長先生からは、毎年の図書寄贈に対し、とても感謝しているとお言葉を頂くことができました。また、図書館司書の方から、「毎年予算が削減されるという状況の中で十

分すぎる程寄贈いただき本当に感謝しています。3月は予算内で購入する本が既に決まっており、3月に出版された本はいい本があっても中々購入することができないので今回はそういった本を選ばせていただきました。環境の本だけで無くたくさん本を寄贈いただきありがとうございます。」とおっしゃっていただき、毎年継続して行うことの大切さ、小学校を含めた地域への活動の大切さを改めて実感することが出来ました。長い期間ずっと続けられる地域貢献活動を今後も行っていきたいと考えています。

●寄贈図書(寄贈した図書で多いもの上位5冊)

国際理解に役立つ世界の衣食住	小峰書店	7冊
みんなのユニバーサルデザイン	小峰書店	6冊
行ってみたいなあんな町こんな町	岩崎書店	4冊
日本の職人 伝統のワザ	学研	4冊
ミラクルかんたん!スイーツマジック	汐文社	4冊



おかげ天神市



「おかげ天神市」は毎月25日に松江市天神町商店街で開催されており、当社も年1回ではありますが毎年参加しています。今年も人出の多い6月に出席し、アースファームで栽培された野菜の販売や、当社の環境に関する取組みのパネル展示、片付け堂のチラシの配布を行いました。特にトマトとにんにく

は完売するほどの人気で、「また次も買いに来るよ」と言ってくれる方もおられました。当社のブースにお越しいただいたお客様や他の出展者の方々との交流の場となっただけでなく、当社やアースファームの取組みをアピールする良い機会となりました。



環境フェスティバル2015に出展

松江市環境フェスティバルは、多くの市民の方をはじめ、環境に関心の高い事業者、NPO、行政、自治体、教育機関、報道関係者などの参加により、環境関連の情報発信や交流など、楽しみながら学べる場を提供することにより市民の環境意識啓発の一環となることを目指して開催されています。

当社も毎年出展しており、平成27年11月16日にくにびきメッセで開催された「環境フェスティバル2015」においても、グループ会社農業生産法人アースファームで栽培された野菜販売や、生ごみリサイクルのパネル展示を行いました。リサイクルできる古紙や空缶をブースへ持参して頂いた方にTポイント50pt

をプレゼントする企画を行ったところ、空缶と古紙を袋に詰めて持って来てくださる方もおられました。また、今年はスサノオマジックの観戦チケットが当たるくじ引きも行い、好評を博しました。



ざいごフェスティバル

10月11日に松江市東出雲町のふれあい広場で行われた「第36回ざいごフェスティバル」に出展しました。当社は働く車コーナーにパッカー車を設置し、子供達に廃棄物の積み込み体験をしてもらいました。

イベント開始の9時から親子連れのご家族が会場を訪れ、働く車コーナーもイベント終了の15時まで人の流れが途切れることなく大変盛況なイベントでした。主にお子さんに体験してもらいましたが、お子さんだけでなくそのご両親も間近で見るパッカー車の動きに興味を持っていただけました。今回多くの家族連れの方に、「減多に出来ない体験をさせてもらった」と非常に喜んでいただけました。



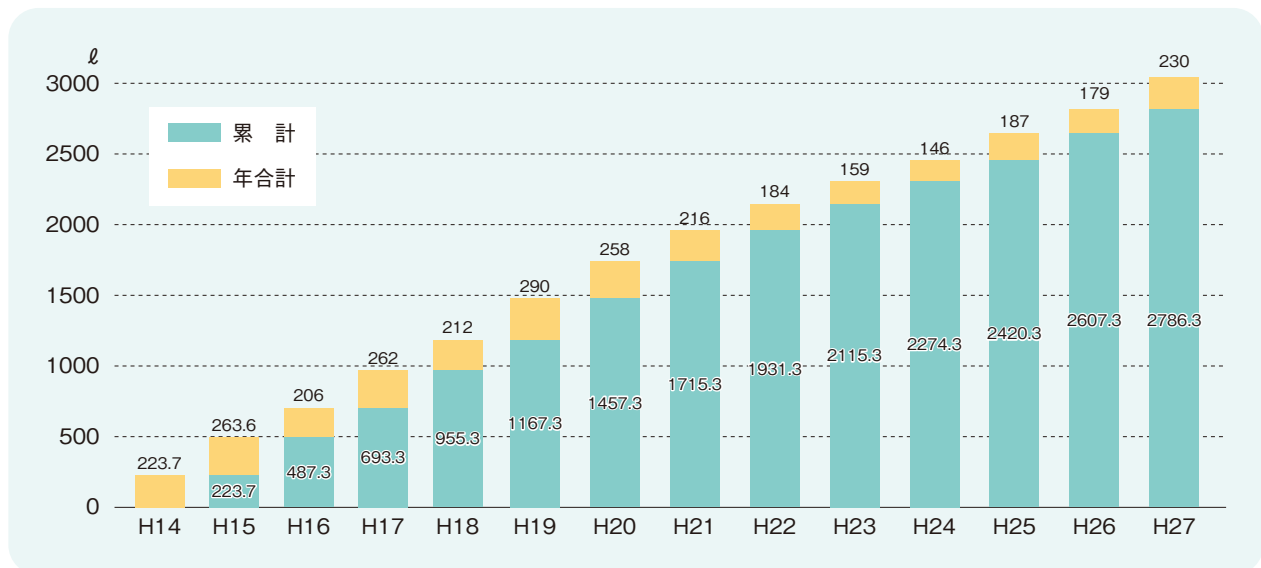


廃食油リサイクル

平成14年より、地元自治会様の各家庭から排出される廃食油を月1回収し、軽油代替油であるBDF(バイオディーゼル燃料)へリサイクルしています。リサイクルした燃料は、当社の重機や場内車の燃料として利用しています。地域の皆様のご協力により、これまで3,016リットルの廃食油を回収させていただきました。



●廃食油回収量



地域清掃活動

当社では平成12年より、毎月2回事務所周辺の美化活動を行っております。また、毎年4月は22日のアースデイに合わせて多くの事務職員、現場職員が参加し美化活動を行っています。アースデイと

は1970年アメリカで“地球環境について考える日”として提案された記念日です。今年もこのアースデイには全社員に声をかけ、通常の約2倍の人数で美化活動を行いました。今後も継続して地域の環境保全に努めてまいります。





地元自治会様見学会

平成12年8月に竹矢地区自治協会様をはじめとする8団体様と「環境に関する協定」を締結させていただき、それ以降行っている見学会も23回目を迎えることができました。これも地元自治会様はじめ、松江保健所様ほか関係各位の皆様のお力添えのお陰と感謝致しております。7月20日に行った見学会では、これまでの当社の取組みや新施設導入について

説明後、工場内の見学をしていただきました。当社では「地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社作りをする」という経営理念を掲げており、今後も見学会やCSR報告書等を通して、徹底した情報公開、更なるリサイクルの推進、地域の環境活動へ積極的に参加してまいります。



スサノオマジックの応援

当社社長がプロバスケットボールチーム「島根スサノオマジック」の運営会社の代表取締役役に就任していることから、当社でも様々な形で島根スサノオマジックの応援を行っております。

平成28年4月には、スサノオマジック観戦ツアーを実施し、多くの社員がスサノオマジックの応援に駆けつけてくれました。また、当社の名前を冠した冠試合の開催やごみのコンビニ片付け堂のスサノオブースタークラブ会員向けの割引サービスなどの施策も実施しました。今後も、島根スサノオマジックを通して島根県を盛り上げていけるよう、積極的に関わってまいります。



ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのかかわり

アースファームたより



社会とのかかわり

島根県産業廃棄物理解促進バスツアー

島根県では、県民の3R(スリーアール)を推進するため、産業廃棄物の発生抑制や循環利用、適正処理を行っているリサイクル施設等を訪問し、見学・意見交換を通じて循環型社会について理解を深めていただくことを目的とし、リサイクルに取り組む企



業等を訪問するバスツアーを実施しました。

平成27年10月27日、このツアーの見学コースに当社が選ばれ、当日は25名の方が参加されました。環境への関心がとても高い方々で、搬入量やリサイクル率などの質問がありました。



不法投棄パトロール及び撤去作業への参加

島根県では、毎年2回、各保健所の主催により県下一斉合同パトロールを実施しています。このパトロールは、島根県が平成7年度から取り組んでいる「廃棄物適正処理対策推進事業」の一環として、また、環境省が平成19年度から主唱している「全国ごみ不法投棄監視ウィーク(5/30～6/5)」の協賛事業として行われています。パトロール対象地域は、島根県があらかじめ指定した「重点監視地域」など不法投棄の発生が懸念される場所であり、当社も松江地区のパトロール作業と、その際に確認された不法投棄物の撤去作業に参加しました。毎年このようなパトロールや撤去活動が行われているにも関わらず、不

法投棄が後を絶たないのが現状です。今後もより一層適正処理の推進に力を入れて参ります。

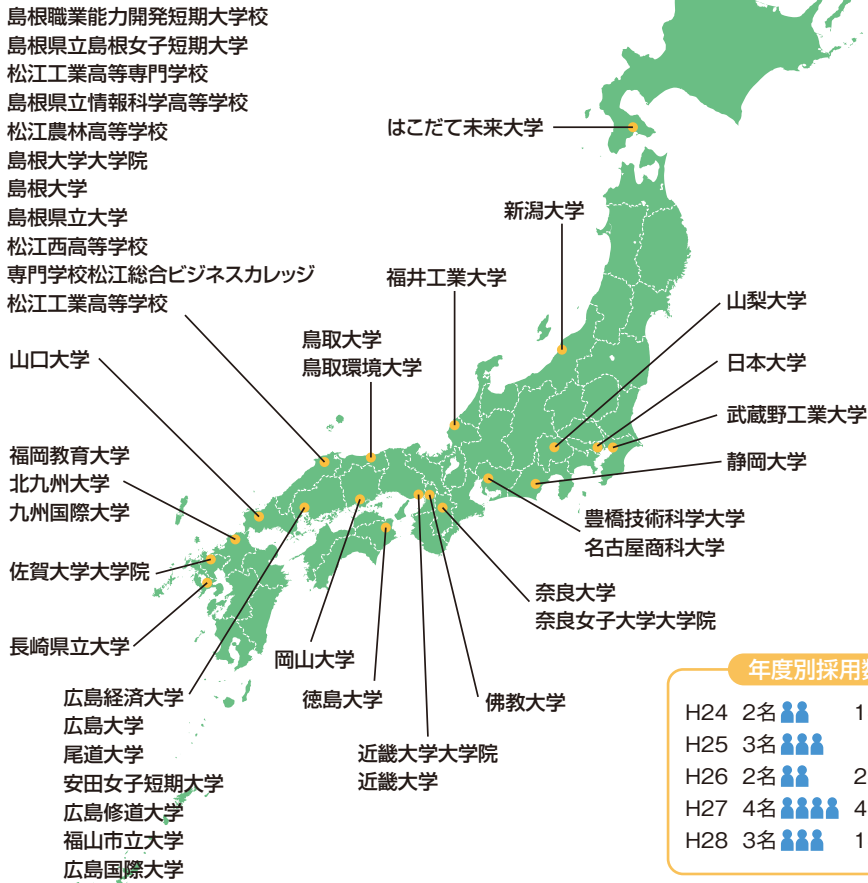




新卒採用活動

当社では、毎年安定的な雇用確保のために新卒者を採用しています。平成28年4月には新たに4名の学生を採用いたしました。

● 新卒採用学生の出身学校マップ



島根大学にて講演

島根大学より依頼を受け、5月13日に「先輩に学ぶ島根大学のこころと形」という題目で、島根大学を卒業した社員が講演を行いました。学生時代のことや、なぜこの仕事を選んだのかなど、これから社会人となる学生にアドバイスのような形でプレゼンをしました。先生から、以前は40代～50代のベテラン社会人を講師に招いたが、学生との年齢差が大きく温度差が感じられたようで、今回は30代前半の当社社員が講演した事で、学生が共感しやすく、また自身の10年後程度の将来像を想像出来たのではないかとのお言葉をいただきました。



ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのかかわり

アースファームたより



お客 とのかかわり

第4回廃棄物管理セミナー

平成27年5月21日にアースサポート主催『廃棄物管理セミナー』を開催しました。当日は多数の方にご参加いただき、ありがとうございました。

第1部では島根県松江保健所環境保全課のご担当者様より「廃棄物処理法に基づく廃棄物の基礎知識」についてご講義いただいた後、第2部では当社営業部の湊より「省エネ機器の最新動向と補助金について」、そして第3部では当社営業部長の土井より「不適正処理の事例」について説明させていただきました。



片付け堂アンケート

ごみのコンビニ「片付け堂」として、ご家庭にある粗大ごみ等の不用品回収、家屋の解体、清掃、遺品整理などのお手伝いをさせていただいております。片付け堂のCMも地元の各テレビ局で放送させていただいており、お陰さまでこの分野でもたくさんのご依頼をいただいております。当社では、より良いサービスの提供を行えるように日々改善活動に取り組ん

でおり、ご協力いただけるお客さまからアンケートを書いていただいております。各項目に「非常に満足（非常に良い）」とチェックをいただいたり、更にはとてもありがたいコメントをいただいたりすることもあり、社員一同喜んでおります。これらの言葉を励みに、これからも廃棄物処理のプロとして安心してお任せいただけるよう努力してまいります。

市のゴミ回収してもらえない物があったり、一人で持てない重い粗大ゴミをお願いしたところ、引き取っていただくことができました。
雨の中の作業にもかかわらず、手際よく積み込んでくださりました。私は、いつも手伝うことばかり、作業が終わりました。ありがとうございました。

スタッフの方々が、言葉遣い、迅速な対応、とても好感が持てました。仕事は言葉他人のゴミも片付けるのは奇い作業だと思いましたが、機嫌よく取り扱ってくださる作業員の方々は、ただただ頭が下がる思いでした。お隣様ご家庭の中も片付け、ご迷惑もありません。お礼の機会があれば、相談させていただきます。





第5回処理状況確認見学会の開催

平成27年7月14日、15日、16日の3日間、弊社のお客様を対象に「処理状況確認見学会」を開催させていただきました。この見学会は、平成23年4月の廃棄物処理法の改正を受け、排出事業者の皆様の処理委託状況確認の機会



として平成23年より毎年開催させていただいております。廃棄物処理の委託先である弊社をお客様に見ていただき、処理の流れ等をご理解いただく機会としておりますが、弊社としてもお客様から直接ご意見をいただく貴重な機会となっております。



食品廃棄物管理セミナーを開催しました

先般、新聞やテレビにて報道されました「食品廃棄物の転売事件」を受け、食品廃棄物について関心が高まっており、事件後各都道府県・官公庁は産業廃棄物処理業者への立入調査を行い、今後、廃棄物を出す排出事業者に対する規制や責任の強化が想定されました。当社では、食品廃棄物を排出されるお客様を対象とし、廃棄物に関するリスク管理や、今後の課題と対策についてお手伝いできるよう「食品廃棄物管理セミナー」を開催いたしました。

平成28年2月17日、松江テルサにて松江保健所の廃棄物担当者様から転売事件を廃棄物処理法上の

観点より説明いただき、また食品廃棄物の品目判断等についても講義いただきました。



営業部係長 湊 友宏

建設業や製造業、小売業や一般個人の方に至るまで、廃棄物を出されるすべての方が当社にとっての“お客様”です。お客様が抱えておられる廃棄物に関するすべての“困った”を迅速に解決し、安心して快適な環境を提供させて頂くのが我々の使命です。その為に私たち営業マンは、お客様の立場に立って考え、迅速な対応、適正処理・リサイクルの推進、ご予算に合った適正価格でサービスの提供をさせて頂くべく、日々対応をさせて頂いております。



持込イベント

廃棄物をお持込いただくお客様とコミュニケーションを取るきっかけになれば、また当社にお越しいただいたわずかな時間だけでもリラックスしていただけたらとの思いから、様々なイベントを受付メンバーで企画しています。

七夕の日には受付メンバー全員が浴衣で対応させていただき、10月末にはハロウィンにちなんで帽子やカチューシャなどを付けお菓子をプレゼントしました。また、クリスマスイベントとして、期間中にサンタ帽子とトナカイのカチューシャをつけ対応を行い、12月24日、25日には先着順にスナオマジック卓上カレンダーをプレゼントする企画や、昨

年に引き続き、お持込にいらっしゃったお客様へバレンタインのチョコをお渡しするバレンタインフェアも行いました。そして、新たなイベントとして今年度は、8月にアースサマー宝くじを実施しました

楽しそうにプレゼントを受け取ってくださったり、声をかけていただいたり、これらの企画を通じ、普段以上にお客様とコミュニケーションを取ることができたと思います。

その他、お持込の受付が混雑する年末の時期に、カウンター増設とお客様待機場所拡大を行うなど、お持込いただくお客様へよりよい接客ができるよう改善を行っています。



作業専用ダイヤルサービスの開始

お客様サービス向上のため、「作業依頼専用ダイヤル」を設置いたしました。

下記の作業依頼につきましては、作業依頼専用ダイヤルにお電話下さいますようお願い申し上げます。

1. 作業依頼専用ダイヤル

TEL 0852-67-6666

2. 作業内容

- (1) コンテナ交換 (2) コンテナ撤去
- (3) コンテナ収集、パッカー車収集(★注1)
- (4) コンテナ設置(★注2)
- (5) 作業日、作業時間の変更、作業のキャンセルなど

3. 開始日：平成27年11月1日から

4. その他：FAX、メールによるご依頼も従来どおり受け付けておりますので、ご利用ください。

★注1：新規現場のパキューム車による収集作業につきましては、営業担当者(0852-37-2890)へご連絡ください。

★注2：コンテナの空き状況確認のため、担当者におつなぎいたします。

作業依頼専用ダイヤル

0852-67-6666

コンテナの交換・撤去や収集作業などは、
こちらまでお電話ください!!

アースサポート株式会社





社員とのかかわり



レクリエーション

社員が夢を持てる会社プロジェクトチームが企画、運営を行い、各種イベントを実施しています。今年の社員旅行は、話題のユニバーサルスタジオジャパンや水陸両用車が体験できる大阪に行きました。天候にも恵まれ、社員同士の親睦を深めることが出来ました。

また、社員だけでなく社員のご家族も参加いただけるようなイベントも実施しています。

- 遠足(バスにて大山でバーベキュー&アスレチック)
- いちご狩り
- スサノオマジック観戦ツアー



事業報告会

当社では全社員が集まる事業報告会を年2回開催しています。社長から今後の方向性や会社のビジョンを説明し、その後、各部署とプロジェクトチームごとに目標の達成状況を発表します。12月に行われる発表会では、各種表彰も行われるなど、社員が盛り上がるイベントとなっています。前年度に会社への貢献度が高く先進的な取り組みを行った事業に対しては、年間MVP賞を授与します。MVPは、

事前に社員が自ら経営幹部にプレゼンテーションを行い、その結果がこの発表会で行われます。そのほか、「お褒めの言葉年間大賞」「ムードメーカーで賞」「プロフェッショナルで賞」など、個人賞も発表されます。勤務時間や勤務場所が異なる社員同士が顔を合わせ、他部署の発表内容を聞くことでコミュニケーションを円滑に図ることができる貴重な機会となっています。





家族見学会(ファミリーデー)

社員のご家族を会社に招いて、普段どんな職場で働いているのか、アースサポートがどんなことをしているのかを知っていただきたいと思い、毎年1回家族見学会を開催しています。今年で13回目となる見学会を平成27年7月19日に開催し、11家族38名の皆様に参加いただきました。当日は、会社概要についての説明の後、スタンプラリーをしながら場内見学を行いました。今年は小さなお子さんの参加も多く、特に重機や各種収集車両への乗車や記念撮影が人気でした。普段なかなか目にするのでできない工作中的の姿や風景に触れていただき、また毎年恒例となっている社員からご家族に向けたメッセージビデオの上映もあり、帰宅後、社員とご家族の会話も弾んだのではないかと思います。



業務課収集班 森本康弘



私たちは、日々皆さんが街で見かける車両で廃棄物の収集運搬を行っています。廃棄物をお客様の前から綺麗に無くすこと、これが我々の仕事です。廃棄物は様々な形のものがあり、量もバラバラです。そのため、時には難しい廃棄物を運搬することも多くあります。しかし、私たちは廃棄物の収集運搬のプロとしてこうした廃棄物を安全に目的地まで運んでいます。地域の環境を守る第一線の業務に従事していることに誇りを持っています。

また、私たちはお客様と顔を合わせることも多いことから、アースサポートの代表であるという自覚を持ち、日々業務に取り組んでいます。あいさつをするなどとても基本的なことですが、時にはお客様からお褒めの言葉を頂くこともあり、非常にやりがいを感じています。



社員研修

当社では、お客様に質の高いサービスを提供できるよう社員教育に力を入れています。新入社員に対しては、約1ヶ月に渡って各部署からの講義や現場研修を行います。そして、最終的には先輩社員によるロールプレイング(工場案内や産業廃棄物管理票(マニフェスト)の説明)をすることによって、1ヶ月間に亘る研修の締めくくりとしています。

また、現場作業員への研修も行っており、収集作

業員に対しては、年に1度安全運転に関する講習会を行っております。今年は、当社の車両についているドライブレコーダーの実際の映像を使用し、信号無交差点における事故発生のメカニズム等について、講義を受けました。また、危険予測について、作業員同士でのディスカッションも行い、様々な意見が出されました。今後もお客様にご満足頂けるよう、社員研修に積極的に取り組んでまいります。



表彰制度

あらゆる報奨制度によって、社員のモチベーションアップに努めています。

社長賞・常務賞・努力賞	会社事業への貢献度が高い取り組みがあった職員への報奨
売上目標達成賞	営業部が個人で掲げている売上目標を達成した場合、毎月行われる報奨
お客様の言葉賞	お客様からお褒めいただいた職員への報奨
A重油ランキング賞	焼却炉の運転において、消費するA重油の量が少なかった上位3名の職員への報奨
収集班対抗表彰	安全運転ランキングや身だしなみ、法律テスト結果などを点数化し、班対抗で1位のチームのメンバーを報奨
年間MVP賞	1年間でアースサポートに新たな価値を生み出した取り組みを行った上位3位の職員またはチームへの報奨
電話対応コンクール	年3回程度、事務系職員が録音した電話対応をエントリーし、社内審査後、上位3名を表彰
各種個人賞	年1回、「看板賞」「ムードメーカーで賞」といった社内投票による個人表彰





資格者一覧

廃棄物関係	人数
化学物質管理者	1
ごみ処理施設技術管理士	2
特別管理産業廃棄物処分業の許可に関する講習修了者会修了者	1
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	1
産業廃棄物焼却施設技術管理者	4
特別管理産業廃棄物管理責任者	4
産業廃棄物収集運搬業の許可に関する講習修了者会修了者	28
石綿取扱い作業従事者特別教育修了者	4
特定化学物質等作業主任者	2
環境管理士	1
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	7
酸欠危険作業特別教育修了者	2
毒劇物取扱責任者	1
粉じん作業特別教育修了者	2
環境計量士(濃度関係)	1
甲種防火管理者	1
廃棄物焼却施設におけるダイオキシソ類対策に係る作業指揮者養成研修修了者	1
一般廃棄物収集運搬・処分業者講習修了者	1
一廃焼却施設技術管理者講習修了者	1
破砕・リサイクル施設技術管理士	1

平成28年6月末現在

清掃関係	人数
第一種衛生管理者	2
下水道排水設備工事責任技術者	1
ビルクリーニング技能士	1
建築物環境衛生管理技術者	1
建築物統括管理者	1
防除作業監督者	1
清掃作業監督者	1
貯水槽清掃作業監督者	1
空気環境測定実施者	1
一級建築士	1
一級建築施工管理技士	1
清掃作業従事者研修指導者	1
貯水槽清掃作業従事者研修修了者	2

平成28年6月末現在

その他	人数
警備員指導教育修了者責任者(1、2号)	1
交通誘導警備1級	1
雑踏警備業務1級	1
危険物取扱者	8
足場組立て等作業主任者技能講習修了者	1
アーク溶接等業務特別教育修了者	17
ガス溶接技能講習修了者	9
運行管理者	1
研削といしの取替え又試運転の業務特別教育修了者	7
高所作業車特別教育修了者(10m未満)修了者	5
高所作業車運転技能講習修了者(10m以上)修了者	5
大型特殊自動車免許所有者	2
牽引免許所有者	1
玉掛業務特別教育修了者	14
玉掛業務技能講習修了者	8
大型自動車免許所有者	22
床上操作式クレーン運転業務特別教育修了者	18
小型移動式クレーン運転業務特別教育修了者	6
小型移動式クレーン運転業務技能講習修了者	9
ローラー運転業務特別教育修了者	1
小型車両系建設機械(整地等)の運転特別教育修了者	6
車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習修了者	26
車両系建設機械(解体用)運転技能講習修了者	6
車両系建設機械(解体用)運転技能特別講習修了者	19
普通救命講習修了者	29
フォークリフト運転技能講習修了者	31
土止支保作業主任者	1
地山の発削作業主任者	1
二級ボイラー技士	1
自由研削といしの取換え等業務特別教育修了者	1
石綿使用建築物等解体特別教育修了者	2
駐車監視員	2
2級土木施工管理技士	3
解体工事施工技士資格者	1
ISO14001内部環境監査員	14
整備管理者選任前研修修了者	1
安全衛生教育修了者(建設工事に従事する労働者)	1
労働安全衛生法による特別教育修了者	1
職長・安全衛生責任者教育修了者	1
P C B 廃棄物収集運搬業作業従事者講習修了者	1
安全運転管理者講習修了者	2
第2種電気工事士免状取得者	1
第3種電気主任技師	1
定期点検技術者講習修了者	1
K Y T トレーナー	2
はい作業主任者	1
安全管理者選任時研修修了者	1
労働安全衛生法による技能講習修了者(特化四鉛)	1

平成28年6月末現在

ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのかかわり

アースファームより



アースファームだより

『NPO法人あすのひかり』との業務連携

アースファームでは、NPO法人あすのひかりと連携し、利用者の方に農作業や出荷補助業務などを行っていただいています。農作業の経験を通じて知識・能力の向上を図り、利用者の方の就労支援をお手伝いしています。



販売実績

栽培した野菜は、近隣の旅館や飲食店の納品の他、スーパーでの店舗販売も行っています。

- HOK乃木店様
- ラパン様
- みしまや上乃木店様
- 松江合同青果様



HOK山代店様



HOK キャスパル様

アースファームの野菜



オクラ



しし唐



トマト



ミニ葱



さといも



ブロッコリー

「アースサポート株式会社 CSR報告書2016」 をお読みいただきありがとうございました。

このCSR報告書は、当社の環境活動をはじめ、社会活動、社員への活動を含めたサステナビリティレポートに近い形にしております。わたしたちの活動内容を皆様にわかりやすくお伝えできるよう作成しましたが、不十分な点があると思いますので、ぜひ皆様のご意見・ご感想をお聞かせくださいますようお願いいたします。

裏面のアンケートにご回答の上、FAXにてお送りいただくか、右下のアンケートはがきの回答をご記入の上、そのまま投函くださいますようお願いいたします。



アンケートにお答えいただいた方の中から
抽選で、(有)アースファームの農場で収穫した
「季節のお野菜」をプレゼントいたします。



料
金
受
取
人
払
郵
便

松江中央局
承認

159

差出有効期間
平成30年7月
31日まで

切手を貼らずに投函ください。



アースサポート株式会社 行

島根県松江市八幡町八二番地1

646

6 9 0 8 7 9 0

郵便はがき

FAX:0852-37-2892

Q1 アースサポート株式会社 CSR報告書2016をご覧になって
どのように感じられましたか？

①当社の環境・社会活動自体について

1. 非常に評価できる 2. 評価できる 3. ぶつう
4. あまり評価できない 5. 評価できない

②わかりやすさについて

1. 非常にわかりやすい 2. わかりやすい 3. ぶつう
4. ややわかりにくい 5. わかりにくい

③内容について

1. 非常に充実している 2. 充実している 3. ぶつう
4. ややもの足りない 5. もの足りない

Q2 本報告書の中で、特に興味を持たれたものはどの項目ですか？（複数可）

1. アースサポートのあゆみ 2. トップメッセージ 3. ハイライト 4. 環境とのかかわり
5. 地域とのかかわり 6. 社会とのかかわり 7. お客様とのかかわり 8. 社員とのつながり
9. アースファームだより

Q3 本報告書をどのような立場でご覧になりましたか？

1. 一般 2. お取引先 3. NPO・NGO 4. 学生 5. 行政関係 6. 社員・ご家族
7. 研究・教育機関 8. 当社近隣の方 9. 報道関係 10. その他

Q4 本報告書をどのようなカタチでお知りになりましたか？

1. 当社からの郵送 2. 当社ホームページ 3. アースサポートNEWS
4. メールマガジン 5. 当社従業員より 6. その他（ ）

Q5 今後のアースサポートの活動に望まれること、期待されること

Q6 本報告書に関するご意見等ございましたらご記入をお願いいたします

CSR報告書2016アンケート

Q1 ① ② ③

Q2 _____

Q3

Q4

Q5 _____

Q6 _____

お名前 _____

住 所 〒 _____

電 話 _____

E-mail _____

◀ 切り取って 送いただくか、
このままFAXしてください。
※記入していただいた個人情報は、
本アンケート以外の目的で
使用いたしません。

● 編集後記 ●

『CSR報告書2016』は、対象期間を平成27年4月1日から平成28年3月31日までとし、アースサポート株式会社の全事業について掲載しています。関係各位の皆様方にご助力いただきましたことを改めて御礼申し上げます。

私たちは、環境に対する取組みだけでなく、地域や社会、お客様、社員に対するさまざまな取組みを実施するとともに、その情報公開に努めてまいりました。地域の皆様をはじめ、一般の方にも読みやすいよう写真を多く使用し、わかりやすく読みやすい報告書の製作を心がけています。そのため、内容に不十分なところも多々ございますので、ぜひ皆様のご意見をご参考にし、今後のより良いCSR報告書づくりに取り組んで参りたいと考えております。

編集・製作 CSR推進室

過去の環境報告書・CSR報告書





Earth Support Corporation.

アースサポート株式会社

本社 / 〒690-0025 島根県松江市八幡町882番地2
TEL 0852-37-2890 FAX 0852-37-2892
E-mail: earth@earth-support.jp

東京本部 / 〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目4-14
未来環境創造ビル3F
TEL 03-6441-2900 FAX 03-6441-2920

<http://www.earth-support.jp>



ISO 14001
JQA-EM1465
本社:エフエル京浜島
廃棄物リサイクル



アースサポート株式会社は
島根スサノオマジックを応援しています。



この印刷物は環境保護のため
大豆インキを使用しております。